

特集： チームで競って環境保護

「ウォーキング de ゴミひろい大会」

12月10日(日)10時 小平市第五小学校で開催

ラグビー・サッカーのワールド杯やメジャーリーグの球場で、応援した席のゴミを拾い、掃除して帰る日本人の姿が世界から絶賛されています。海外に誇れる素晴らしい精神を持つ日本のゴミ拾い活動。そんな日本人の「環境を大事に」の精神に、「スポーツ」というエッセンスを融合させ、「地域活動」を「楽しみながら行う競技」へと変換させたのが「ウォーキング de ゴミひろい」です。

競技の方法は、5人組で、制限時間内に定められたエリア内で力を合わせ、ウォーキングでゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う、環境にもやさしいスポーツです。



ウォーキング de ゴミひろい協会は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト」という団体の中から生まれました。

“プロジェクト”には、①スポーツ、②文化・芸術、③環境、という3つの分野の活動がありました。その中の「環境」について、これからも長く活動していこうということで、2021年4月に誕生したのが「ウォーキング de ゴミひろい協会」です。

2019年に“プロジェクト”が中央公園で行った「スポGOMI大会 in 小平」が発展し、小平独自の、「ウォーキング de ゴミひろい」が立ち上がりました。

競技で「ひろい」のは、落ち葉、ビン・カン、たばこの吸い殻、紙ごみの4種類など、それぞれ種類別にポイントを決め、重さを合計して総合点で順位を決めます。

小平は玉川上水沿いの落ち葉が多く、よい落ち葉



(油気や他のゴミが混じっていない)は、近隣の農家にも人気だそうです。落ち葉を引き取ってもらって、たい肥づくりに使ってもらい、そのたい肥でつくった野菜は、めぐりめぐって小平市民のおなかへ。ゴミ=資源が循環していくことで環境問題のひとつが解決する、というちょっと素敵な活動になっています。

主催：ウォーキング de ゴミひろい協会

後援：小平市/小平市教育委員会

協力：こだいらスポーツ&カルチャー Kommission



【問合せ】 電話 由井 090-8492-4939、立花 090-8779-9530
メール kodairamachikado2020@gmail.com